


TES会中部支部 第128回クレーム事例勉強会

検討年月日	2018/6/15		Aグループ					
品名(品番)(写真)	ベージュ×ブラウンボーダーニットシャツ							
	組成	取 扱 い 絵 表 示	103	201	301	401	501	601
	綿 95%		104	202	302	402	502	602
	ポリウレタン 5%		105		303	403		603
			106		304			604
			107		あて布			
			ネット					
			無蛍光					
			中性					
			国内用取扱い表示なし					
申し出クレーム内容	家庭洗濯したところ、糸がほつれてきた							
クリーニング処理法	洗濯方法・回数不明							
グループ検討内容	<p>(観察事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着用状況、洗濯回数等、不明な点が多いが、現象としてはよこ糸に使用されたポリウレタン糸が切れている <p>(原因)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糸切れが着用によるものか、洗濯によるものか判断は難しいが、発生個所が肩や脇のように力の掛かるところに集中していることから、着用時における伸縮等、外からの力の影響が考えられる 							
検査機関検討内容	<p>当該生地は白糸を裏抜きした、ストレッチ性のあるニット生地である。 裏抜きした糸は表生地と部分的にしか接結しておらず、糸の浮きが長い。この裏抜きした白糸が部分的にほつれており、特にパーツの縫い合わせからのほつれが顕著である。</p> <p>ほつれがある部分は表生地もポリウレタンがスリップインしており、縫い合わせの縫製での押さえが不十分であると推測される。この影響が裏抜きの白糸にも出ており、しかも浮きが長いので縫目から抜けてほつれたと考えられる。</p> <p>なお、白糸は肌側の接触感を良くするため甘撚り糸を使っている可能性がある。従ってそもそも糸自身の撚りが戻り易い状況にあったと言える。</p> <p>原因: 生地設計と縫製仕様の不適合</p>							